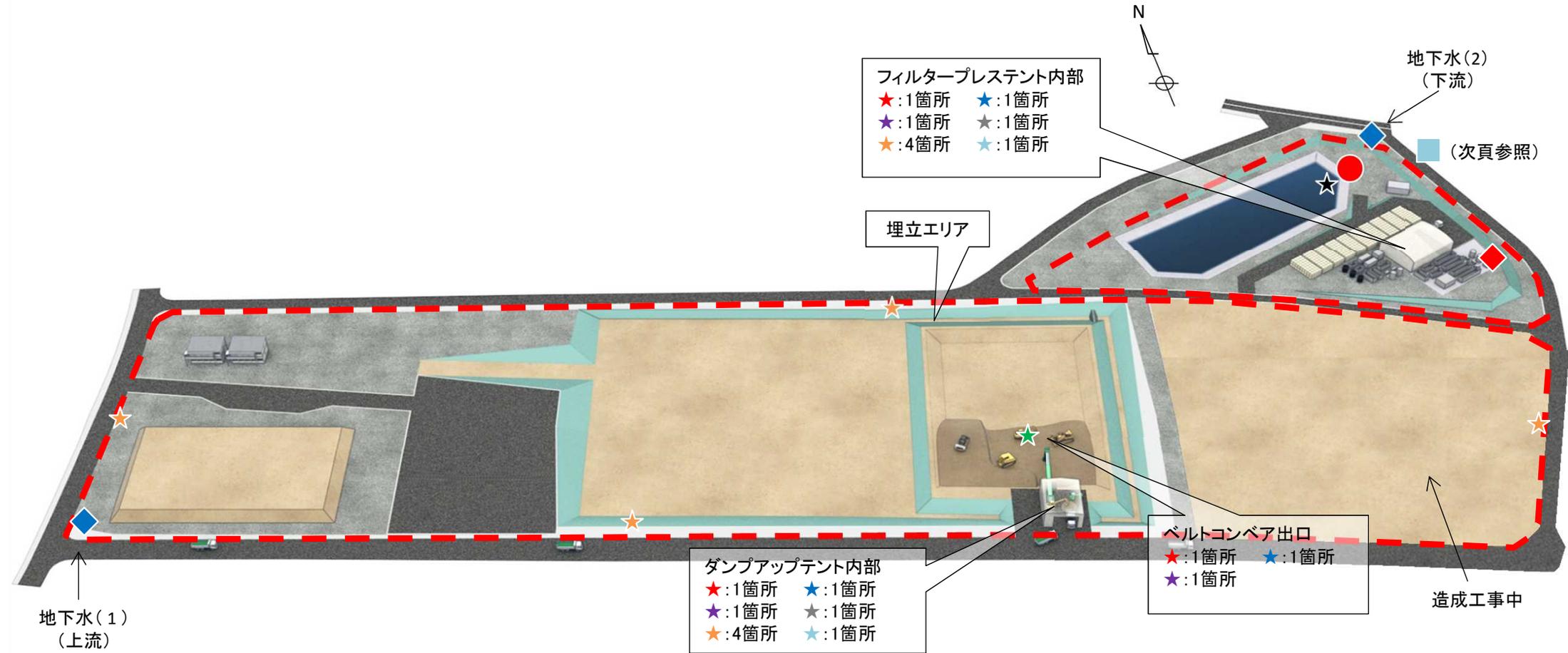
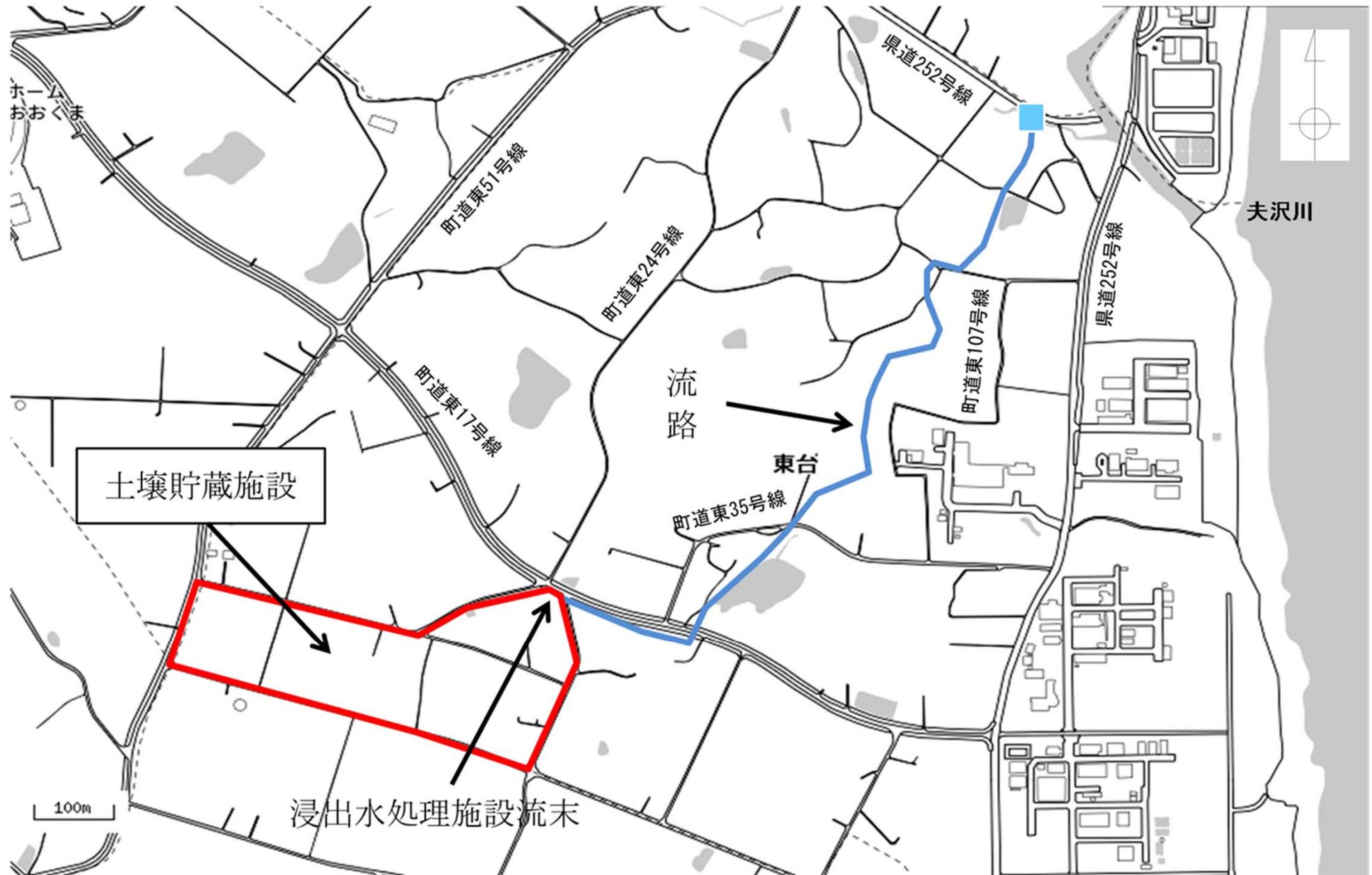


土壤貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)①



凡例					
◆	: 地下水(井戸)中の電気伝導率等	●	: 地下水(集排水設備)中の放射能濃度	◆	: 処理水中の放射能濃度等
★	: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量	■	: 放流先河川の放射能濃度	★	: 粉じん濃度
★	: 空間線量率(作業環境)	★	: 空気中の放射能濃度	★	: 表面汚染密度(床)
★	: 表面汚染密度(壁・埋立施設境界)	★	: 表面汚染密度(設備)	★	: 表面汚染密度(重機)
---	: 敷地境界線				

土壤貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)②



土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年3月 ①

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11 (稼働前)		14	14
	2018/3/1 (稼働後)		14	13
下流	2017/10/11 (稼働前)		19	6.5
	2018/3/1 (稼働後)		33	15

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5 (稼働前)		ND
2018/3/1 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

◆処理水中の水素イオン濃度等

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物学的酸素 要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)
2018/3/2		7.1	1.4	2.9	ND

浮遊物質(SS)の報告下限値：1 mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度 (pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2018/3/21	1	7.46	7.46	0.96	0.96	ND	29.3
2018/3/22	2	7.17	7.42	0.88	1	ND	59.6
2018/3/23	5	6.93	7.5	0.26	0.68	ND	143.9
2018/3/24	2	7.12	7.48	0.8	0.8	ND	45.4
2018/3/26	4	6.84	7.55	1.09	2.74	ND	119.7
2018/3/27	2	6.9	7.28	0.8	0.9	ND	33.1
2018/3/28	3	6.66	7.22	0.46	0.83	ND	88.7
2018/3/29	2	6.96	7.1	0.93	1.13	ND	47.5
2018/3/30	2	7.2	7.32	1.09	1.13	ND	61.7

pH管理値：5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値：5以下であること。

放射性セシウム管理値：NDであること。

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS)
2018/3/2 (稼働後)		24

報告下限値：1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4 (稼働前)		ND	3.8
2018/3/2 (稼働後)		ND	5.0

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年3月 ②

★粉じん濃度

測定地点	2018/3/1 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンプアップテント	1.7
フィルタープレステント	0.3
ベルトコンベア出口	1.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

測定結果は、デジタル粉じん計の値から後日取得した区画ごとの換算係数により算出した。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/3/12 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.58
フィルタープレステント	0.3
ベルトコンベア出口	0.75

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/3/12 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/3/12 (稼働後)	
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
埋立施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
ダンプアップテント	床	①	ND
	壁	①-1	ND
		①-2	ND
		①-3	ND
		①-4	ND
設備	ベルトコンベア	ND	
フィルタープレステント	床	②	ND
	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
設備	フィルタープレス	ND	
埋立エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		キャリアダンプ①	-
		ブルドーザー①	ND
		スクレープドーザー①	-

表面汚染密度検出下限値：0.63 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年2月 ①

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11	(稼働前)	14	14
	2018/2/1	(稼働後)	14	12
下流	2017/10/11	(稼働前)	19	6.5
	2018/2/1	(稼働後)	33	12

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
測定日		
2017/10/5	(稼働前)	ND
2018/2/1	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆処理水中の放射能濃度等

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)	
測定日	(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	
2018/2/1	(稼働後)	7.0	2.5	3.3	ND

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)	
測定日		
2018/2/1	(稼働後)	ND
2018/2/8	(稼働後)	ND
2018/2/15	(稼働後)	ND
2018/2/22	(稼働後)	ND

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

放射能濃度のNDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度(pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2018/2/17	9	6.4	8.0	0.0	3.1	ND	187.9
2018/2/19	1	6.7	6.7	0.0	0.0	ND	22.6

pH管理値: 5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値: 5以下であること。

放射性セシウム管理値: NDであること。

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目		浮遊物質 (SS)
測定日		(mg/L)
2018/2/1	(稼働後)	4

報告下限値: 1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日			
2017/10/4	(稼働前)	ND	3.8
2018/2/1	(稼働後)	ND	2

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年2月 ②

★粉じん濃度

測定地点	2018/2/1 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンプアップテント	0.51
フィルタープレステント	0.12
ベルトコンベア出口	0.13

定量下限値: 0.01mg/m³、管理濃度: 3.0mg/m³

★空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/2/22 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.64
フィルタープレステント	0.41
ベルトコンベア出口	1.18

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/2/22 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³
 NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。
 放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度 (★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/2/22	
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
埋立施設境界		①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
ダンプアップテント	床 壁	①	ND
		①-1	ND
		①-2	ND
		①-3	ND
		①-4	ND
	設備	ベルトコンベア	ND
フィルタープレステント	床 壁	②	ND
		②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
	設備	フィルタープレス	ND
埋立エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		キャリアダンプ①	-
		ブルドーザー①	ND
		スクレーパー①	-

バックグラウンド約0.25Bq/cm²を差し引いた値 検出下限値: 0.15Bq/cm²
 NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。
 限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年1月 ①

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11	(稼働前)	14	14
	2018/1/11	(稼働後)	13	12
下流	2017/10/11	(稼働前)	19	6.5
	2018/1/11	(稼働後)	33	12

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5	(稼働前)	ND
2018/1/11	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆処理水中の放射能濃度等

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質量 (SS)
測定日	(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2018/1/11 (稼働後)	7.2	1.2	3.2	ND

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/1/5	(稼働後)	ND
2018/1/11	(稼働後)	ND
2018/1/18	(稼働後)	ND
2018/1/25	(稼働後)	ND

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

放射能濃度のNDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

排水の実績がないため、測定結果は未記載。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量(SS) (mg/L)
2018/1/11	(稼働後)	ND

報告下限値: 1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4	(稼働前)	ND	3.8
2018/1/11	(稼働後)	ND	2.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年1月 ②

★粉じん濃度

測定地点	2018/1/11 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンプアップテント	0.42
フィルタープレステント	0.09
ベルトコンベア出口	0.13

定量下限値: 0.01mg/m³、管理濃度: 3.0mg/m³

★空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/1/25 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.78
フィルタープレステント	0.41
ベルトコンベア出口	0.92

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/1/25 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³
 NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。
 放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備、★重機)

測定地点			2018/1/25 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
ダンプアップテント	床	①	ND
		①-1	ND
		①-2	ND
		①-3	ND
	①-4	ND	
	設備	ベルトコンベア	ND
フィルタープレステント	床	②	ND
		②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
	②-4	ND	
	設備	フィルタープレス	ND
埋立エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	-
		キャリアダンプ①	-
		ブルドーザー①	ND
		スクレーパー①	-

バックグラウンド約0.2Bq/cm²を差し引いた値 検出下限値: 0.14Bq/cm²
 NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。
 限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2017年12月 ①

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2017/10/11(稼働前)	14	14
	2017/12/7(稼働後)	13	13
下流	2017/10/11(稼働前)	19	6.5
	2017/12/7(稼働後)	24	16

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2017/10/5(稼働前)	ND
2017/12/7(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆処理水中の放射能濃度等

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)
測定日	(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2017/12/7(稼働後)	8.0	2.7	2.9	ND

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2017/12/7(稼働後)	ND
2017/12/14(稼働後)	ND
2017/12/21(稼働後)	ND
2017/12/26(稼働後)	ND

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

放射能濃度のNDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度(pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2017/12/26	5	7.7	8.0	0.5	0.9	ND	83.9

pH管理値: 5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値: 5以下であること。

放射性セシウム管理値: NDであること。

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目	浮遊物質 (SS)
測定日	(mg/L)
2017/12/7(稼働後)	2

報告下限値: 1 mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2017/10/4(稼働前)	ND	3.8
2017/12/7(稼働後)	ND	3.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2017年12月 ②

★粉じん濃度

測定地点	2017/12/8 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンプアップテント	0.38
フィルタープレステント	0.02
ベルトコンベア出口	0.01

定量下限値: 0.01mg/m³、管理濃度: 3.0mg/m³

★空間線量率 (作業環境)

測定地点	2017/12/21 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	1.23
フィルタープレステント	0.48
ベルトコンベア出口	1.29

★空気中の放射能濃度

測定地点	2017/12/21 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³
 NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。
 放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3} \leq 1$

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備、★重機)

測定地点			2017/12/21
			表面汚染密度 (Bq/cm ²)
ダンプアップテント	床	①	ND
		①-1	ND
		①-2	ND
		①-3	ND
	①-4	ND	
	設備	ベルトコンベア	ND
フィルタープレステント	床	②	ND
		②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
	②-4	ND	
	設備	フィルタープレス	ND
埋立エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		キャリアダンプ①	-
		ブルドーザー①	ND
		スクレーパー①	ND

バックグラウンド約0.2Bq/cm²を差し引いた値 検出下限値: 0.14Bq/cm²
 NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。
 限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2017年11月 ①

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2017/10/11(稼働前)	14	14
	2017/11/2(稼働後)	14	12
下流	2017/10/11(稼働前)	19	6.5
	2017/11/2(稼働後)	21	7.1

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2017/10/5(稼働前)	ND
2017/11/2(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆処理水中の放射能濃度等

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)
	測定日	(-)	(mg/L)	(mg/L)
2017/11/2(稼働後)	7.0	1.3	1.3	ND

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2017/11/2(稼働後)	ND
2017/11/9(稼働後)	ND
2017/11/16(稼働後)	ND
2017/11/23(稼働後)	ND
2017/11/30(稼働後)	ND

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

放射能濃度のNDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	水素イオン濃度(pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2017/11/1	9	6.6	7.6	0.0	0.0	ND	238.3
2017/11/2	4	6.6	7.6	0.0	4.3	ND	111.3
2017/11/3	1	7.7	7.7	0.0	0.0	ND	14.6
2017/11/23	1	7.4	7.4	1.5	1.5	ND	23.6
2017/11/24	3	7.5	7.6	2.1	3.1	ND	88.6

pH管理値: 5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値: 5以下であること。

放射性セシウム管理値: NDであること。

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目	浮遊物質 (SS)
測定日	(mg/L)
2017/11/1(稼働後)	10

報告下限値: 1 mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2017/10/4(稼働前)	ND	3.8
2017/11/2(稼働後)	ND	4.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2017年11月 ②

★粉じん濃度

測定地点	2017/11/10 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンプアップテント	0.29
フィルタープレステント	0.01
ベルトコンベア出口	0.04

定量下限値:0.01mg/m³、管理濃度:3.0mg/m³

★空間線量率 (作業環境)

測定地点	2017/11/23 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	1.13
フィルタープレステント	0.51
ベルトコンベア出口	2.07

★空気中の放射能濃度

測定地点	2017/11/23 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND

放射能濃度検出下限値:セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³
 NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。
 放射能濃度[Bq/cm³]の限度:セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3} \leq 1$

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備、★重機)

測定地点			2017/11/23 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
ダンプアップテント	床 壁	①	ND
		①-1	ND
		①-2	ND
		①-3	ND
	①-4	ND	
	設備	ベルトコンベア	ND
フィルタープレステント	床 壁	②	ND
		②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
	②-4	ND	
	設備	フィルタープレス	ND
埋立エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		キャリアダンプ①	-
		ブルドーザー①	ND
		スクレーパー①	-

バックグラウンド約0.2Bq/cm²を差し引いた値 検出下限値:0.14Bq/cm²
 NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。
 限度:40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2017年10月 ①

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2017/10/11(稼働前)	14	14
	2017/10/31(稼働後)	14	12
下流	2017/10/11(稼働前)	19	6.5
	2017/10/31(稼働後)	21	7.0

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2017/10/5(稼働前)	ND
2017/10/31(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆処理水中の放射能濃度等

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 量(SS) (mg/L)
測定日	(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2017/10/31(稼働後)	7.0	1.3	1.7	ND

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2017/10/31(稼働後)	ND

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

放射能濃度のNDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度(pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2017/10/31	4	6.7	7.7	0.0	0.0	ND	121.8

pH管理値: 5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値: 5以下であること。

放射性セシウム管理値: NDであること。

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目	浮遊物質 量(SS) (mg/L)
測定日	
2017/10/31(稼働後)	27

報告下限値: 1 mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2017/10/4(稼働前)	ND	3.8
2017/10/31(稼働後)	ND	5.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 ≤ 1

土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2017年10月 ②

★粉じん濃度

測定地点	2017/10/31 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレステント	0.01
ベルトコンベア出口	0.00

定量下限値: 0.01mg/m³、管理濃度: 3.0mg/m³

★空間線量率 (作業環境)

測定地点	2017/10/30 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	1.27
フィルタープレステント	0.54
ベルトコンベア出口	1.35

★空気中の放射能濃度

測定地点	2017/10/30 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³
 NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。
 放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備、★重機)

測定地点			2017/10/30 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
ダンプアップテント	床 壁	①	ND
		①-1	ND
		①-2	ND
		①-3	ND
	①-4	ND	
	設備	ベルトコンベア	ND
フィルタープレステント	床 壁	②	ND
		②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
	②-4	ND	
	設備	フィルタープレス	ND
埋立エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		キャリアダンプ①	ND
		ブルドーザー①	-
		スクレーパー①	-

バックグラウンド約0.2Bq/cm²を差し引いた値 検出下限値: 0.14Bq/cm²
 NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。
 限度: 40Bq/cm²